

【まとめ】

今回の調査で、仙谷1号墓では部分的に敷石と立石が施されていることが判明しました。この構造は、これまで調査された妻木晩田遺跡の貼石を持つ墳丘墓では確認されていなかったものであり、よく似た事例は、弥生時代後期後葉の出雲地域にみられます。妻木晩田遺跡の四隅突出型墳丘墓は、貼石等の構造や突出部の形状などバリエーションが豊かで、類例を探していくと、それぞれ、他の地域との関連が想定されます。今回の仙谷1号墓の発見は、妻木晩田遺跡の墳丘墓研究のみならず、山陰地域の弥生時代後期の四隅突出型墳丘墓の系譜について検討する材料になります。

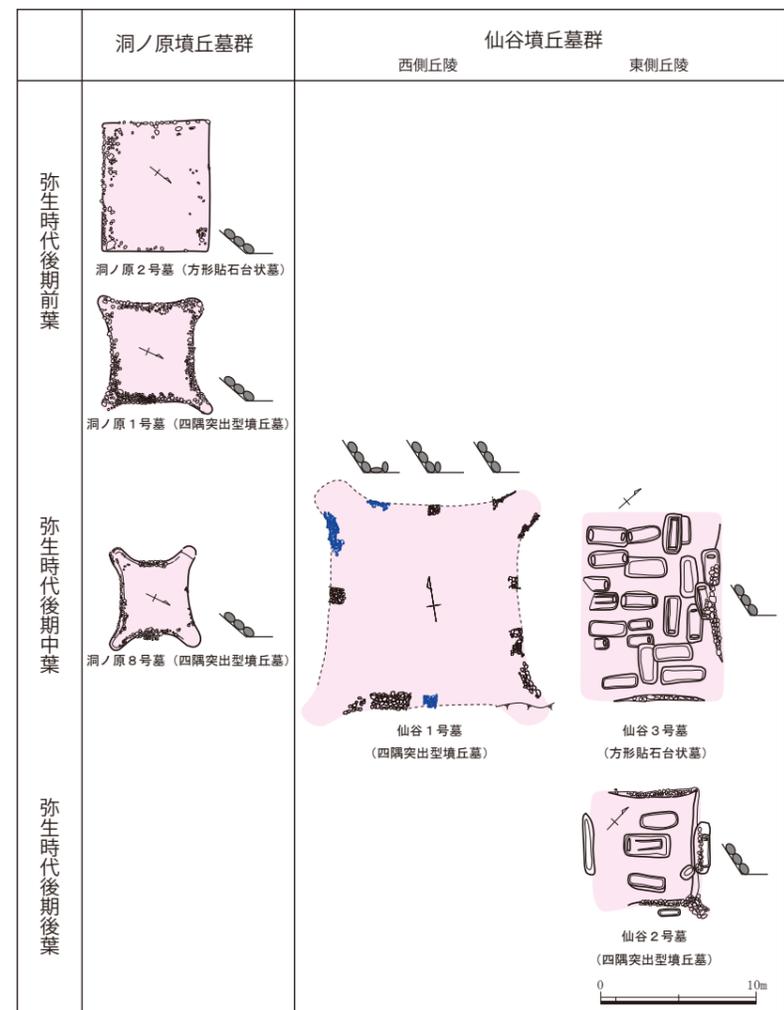


図4 妻木晩田遺跡の貼石を持つ墳丘墓

※洞ノ原墳丘墓群は各時期の代表的なもの

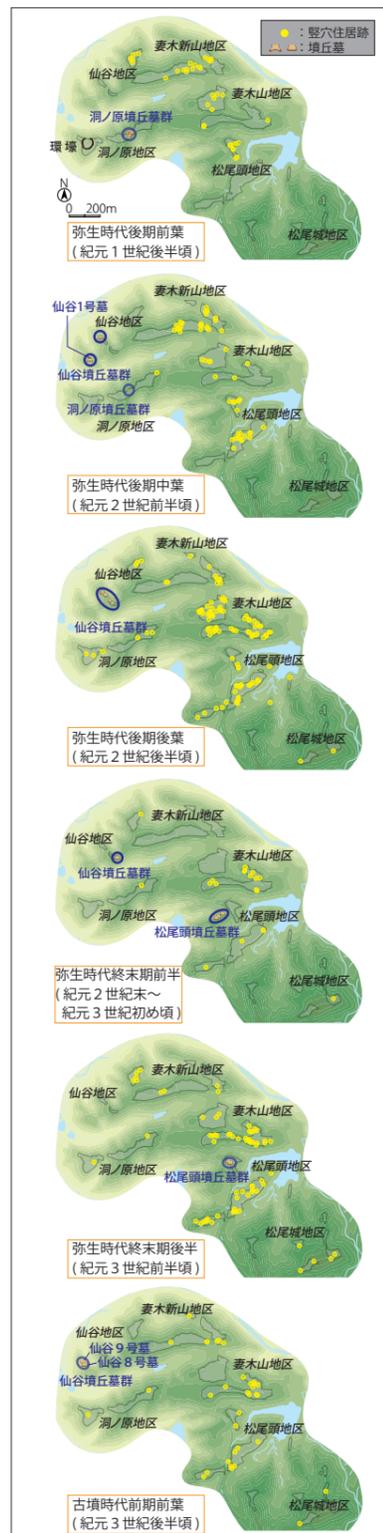


図5 妻木晩田遺跡における墓域の変遷



鳥取県立むきばんだ史跡公園

令和3年12月4日(土)

くにしせきむきばんだいせき  
国史跡妻木晩田遺跡

第37次発掘調査現地説明会資料

～仙谷1号墓の調査成果～

鳥取県立むきばんだ史跡公園では、仙谷地区西側丘陵で第37次発掘調査を行っています。今回の調査は、令和3年10月25日から開始し、12月下旬まで実施しています。仙谷地区は妻木晩田遺跡を治めた有力者の墓が造られた墓地です。妻木晩田遺跡では、洞ノ原地区、仙谷地区、松尾頭地区で有力者の墓地(墓域)が見つっています。仙谷地区は、集落が拡大していく集落展開期(弥生時代後期中葉、紀元2世紀前半頃)から集落終焉期(古墳時代前期前葉、紀元3世紀後半頃)まで、墳丘墓が造られました。その中で、仙谷1号墓は、仙谷地区の中で最も古い時期の弥生時代後期中葉に築造された墳丘墓であり、妻木晩田遺跡内で最大規模の四隅突出型墳丘墓として知られています。

<調査の目的>

今後、仙谷1号墓を一般の方が見学できる場所に整備していくために、計画を具体化するための材料として、以下の点について確認する調査を行っています。

- ① 仙谷1号墓の墳丘の高さ、規模を確認する。
- ② 北西隅の突出部の形状を確認する。

<主な成果>

- ① 墳丘の盛土がよく残っており、北西隅の突出部の状態も確認することができました。
- ② 墳丘の貼石等が場所によって異なる構造をしていることがわかりました。

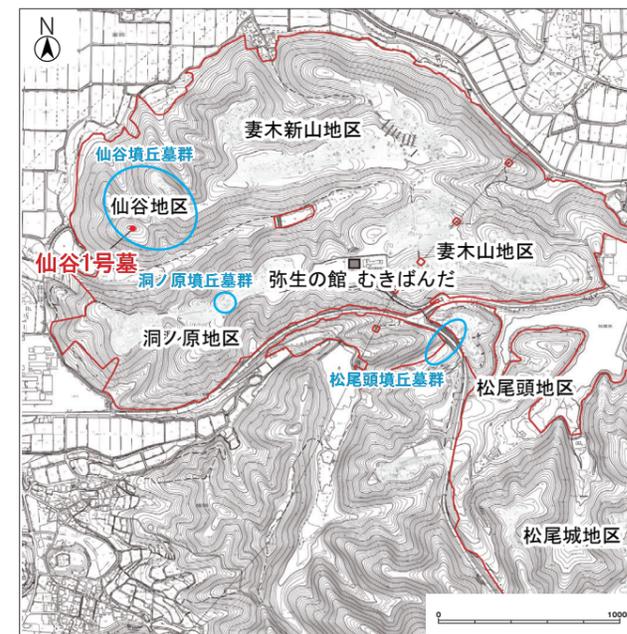
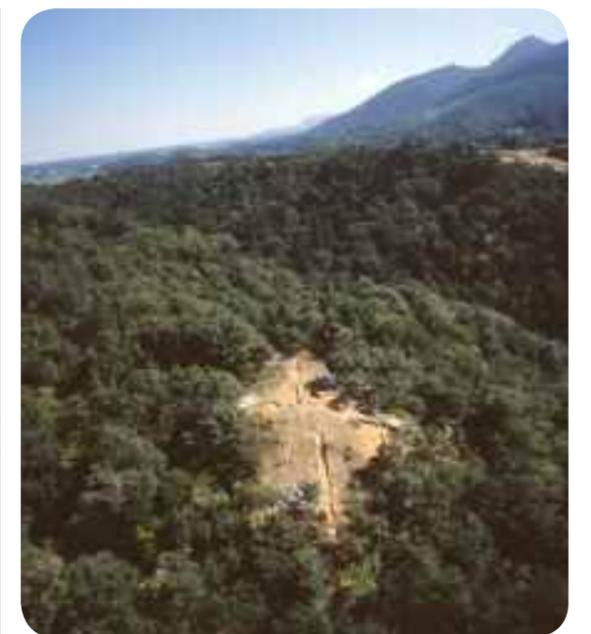


図1 調査地点位置図



①仙谷1号墓を上空から見たようす  
(平成24年度撮影、北西から)



鳥取県立むきばんだ史跡公園  
〒689-3324 鳥取県西伯郡大山町妻木 1115-4  
電話 0859-37-4000 / ファクシミリ 0859-37-4001  
史跡公園ホームページ <https://www.pref.tottori.lg.jp/mukibanda/>  
史跡公園 Facebook <https://www.facebook.com/Mukibanda/>



②墳丘西辺のようす (西から撮影)



③北西隅突出部全体 (北西から撮影)



④北西隅・墳丘西辺のようす (俯瞰)



⑤北西隅・墳丘北辺のようす (北西から撮影)



⑥墳丘南辺のようす (東から撮影)

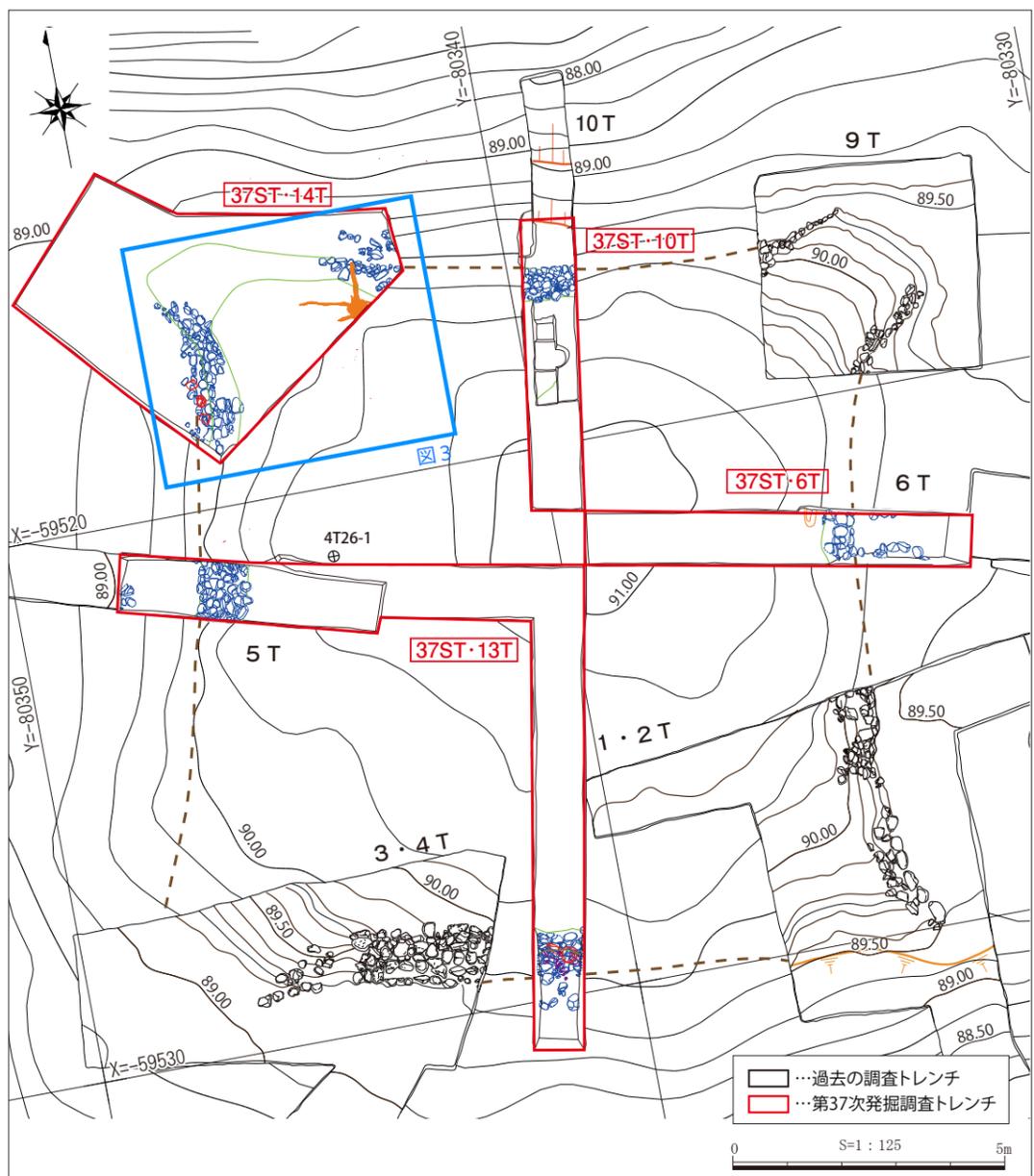


図2 仙谷1号墓平面図 (S=1/125)

【仙谷1号墓の大きさ】

墳丘の大きさ：南北・約13m、東西・約12m ※突出部含まず。

墳丘の高さ：最大1.7m (残存高)

※墳丘西側及び南側の貼石(立石)下端からの高さ。

※古墳時代前期前葉の仙谷8、9号墓を除いて最も高い。

貼石の高さ：最大0.7m (残存高) ※墳丘南辺。

【仙谷1号墓の貼石】

今回初めて調査した北西隅の突出部では、墳丘西辺と墳丘北辺で貼石の構造が異なることがわかりました。過去の調査で、仙谷1号墓は部分的に立石を伴うとされていましたが、北西隅の墳丘西辺において、墳丘斜面に貼り付けるように施された「貼石」と、墳丘の裾に石を立てて並べた「立石」1列、そして、「貼石」と「立石」の間に石の平らな面をそろえて並べられた「敷石」が1列あることを確認しました。一方で、北西隅の墳丘北辺は、過去の調査と同じく、墳丘斜面の貼石のみであり、辺によって貼石等の構造が異なります。また、突出部の先端には崩れ落ちた貼石の石材は見られなかったため、過去の調査成果と合わせてみても突出部の上面には貼石が施されていない可能性があります。

【出土遺物】

墳丘頂部の盛土上や墳丘から流れ落ちた盛土(流土)中から弥生土器が破片で出土しました。器種は、過去の調査で出土したものを含め、点数の多い順に、甕、器台、高坏、壺・鉢があります。

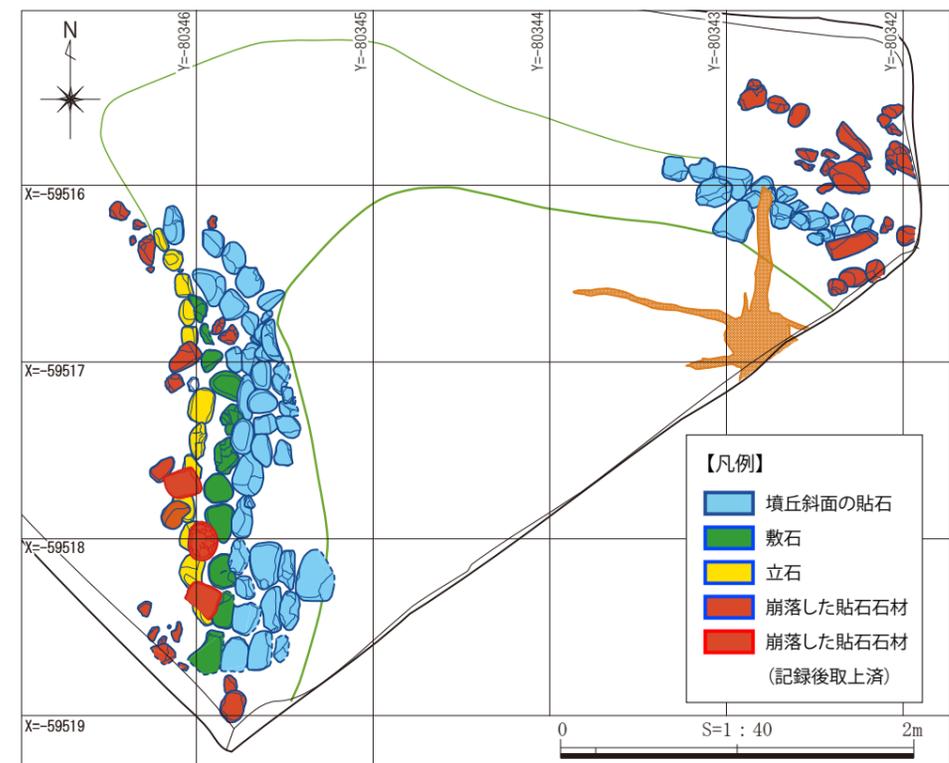


図3 北西隅の貼石等色分け図 (S=1/40)